



2010～2011年度
R I テーマ

Building Communities - Bridging Continents
地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

国際ロータリー会長

レイ・クリングスミス (国籍・米国)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ホテルニューツルタ 〒874-0800 別府市北浜1-14-15
TEL (0977) 22-1100 FAX 21-1019
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	木村きぬゑ	理事	津末美代子	役員	会長	木村きぬゑ	S A A	近藤 賢司
◇	亀井 孝	◇	大島由美子	副会長	亀井 孝	直前会長	近藤 賢司	
◇	河村 貴雄	◇	高宮 勝美	幹事	後藤 隆			
◇	村津 忠久			会計	河村 貴雄			

VOL. 23-40
2011年5月17日

第1048回例会

会報委員長 衛藤 秀子

- ◆点 鐘 12:30
- ◆R S 別府中央R.C.の歌
- ◆唱 歌 茶摘み
- ◆ゲスト 檀上 陽一氏
(今日新聞社社長、別府東RC会員)
- ◆ビジター 佐藤 英隆 (日出RC)

会長の時間 会長 木村きぬゑ

皆さん、こんにちは！ 今日今日新聞社社長、檀上陽一さんをお迎えし、東日本大震災の現場に行って来られた時の、生の情報を卓話していただきたいと思います。

檀上社長は新聞社の社長をなさる前は、従軍取材でベトナム、湾岸戦争、レバノン等々戦場をかけめぐって来たつわものです。みなさん心してお話を聞きましょう。檀上様よろしく願いいたします。

先日15日、新入会員のインフォメーションがありました。今回のインフォメーションは一度に2名とあって、ゆめさきの女将大島由美子会員の格別のサービスで、今までにない雰囲気で行う事が出来ました。参加された皆さんありがとうございました。

各委員長がそれぞれの役割を新入会員に伝える事が出来、素晴らしいインフォメーションが出来

◆出席報告 出席委員長 大島由美子

本日 の 出 席	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	19 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
席	欠 席 数	2 名
	出 席 率	82.61 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	77.27 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
	修 正 出 席 率	86.36 %

連 続 - 回
通 算 742 回 100 %

・メイクアップ

事前 近藤 (大分中央)、村津 (別府)
事後
欠席 梶田、河村
出席免除 溝部

たと思っています。会員一丸となって新入会員をサポートしましょう。



幹事報告

幹事 後藤 隆

審議事項

1. 本日の卓話
「東日本大震災 陸上自衛隊同行記」
今日新聞社 社長／別府東RC 会員 檀上陽一氏
2. 本日のゲスト
檀上 陽一氏 (今日新聞社 社長／別府東RC 会員)
3. 本日より、下記の方が入会されますのでよろしくお願ひ致します。
氏 名 佐々木久宜氏
生年月日 昭和50年1月6日生 (36才)
事業所名 有限会社ササキ電器 専務取締役
職業分類 電気器具小売
自宅住所 別府市馬場町1組3
推 薦 者 木村きぬゑ会員



4. 第11回定例理事・役員会報告
(平成23年4月26日(火)例会終了後～
於：ホテルニューツルタ 8名)

報告事項

- 1) 別府市内4RC会長・幹事会報告(平成23年4月28日(木)持ち回り)
○合同事務局員の夏期賞与支給について。
※承認
- 2) 新入会員候補者 (おおえともみ ささきひさよし
氏) 選考経過報告と今後の予定。

- 1) 2010-2011年度後期立替金請求の件。※承認
- 2) 「親睦家族例会」の件。※承認
例会日 平成23年5月24日(火)18:30～例会
終了後～親睦家族会
場 所 春香苑
会 費 会員 5,000円 ご家族 2,500円
(+例会食費2,000円)
- 3) 「第4回(新・旧)クラブ協議会」の件。※承認
例会日 平成23年6月21日(火)12:30～例会
例会終了後～クラブ協議会
場 所 ホテルニューツルタ
- 4) 「会長・幹事慰労会」の件。※承認
例会日 平成23年6月28日(火)18:30～例会
例会終了後～慰労会
場 所 ホテル山水館
会 費 7,000円 (+例会食費2,000円)
*全員徴収
- 5) 5月・6月例会予定の確認
5月3日 「法定休日」
10日 「母二人」衛藤 秀子会員
17日 「東日本大震災 陸上自衛隊同行記」
今日新聞社社長 檀上陽一氏
24日 「親睦家族例会」於：春香苑
31日 「会員卓話」梅津ヤヨイ会員
6月7日 「会員卓話」木村きぬゑ会員
14日 「地区協議会報告」
21日 「第4回(新・旧)クラブ協議会」
28日 「会長・幹事慰労会」

- 6) その他
○「第61回社会を明るくする運動」標語パネル購入協力をお願い※承認(回覧)

5. 5月15日(日)18:30～割烹旅館 ゆめさきに於いて、「新会員候補者のインフォメーション」を開催致しました。
出席者：木村きぬゑ会長、鳴海淳郎R情報委員長、亀井 孝副会長、高宮勝美会員増強委員長、森園伸也親睦委員長、後藤 隆幹事



6. 委員会報告

ロータリー探究：

No.201 「ロータリー情報の意義について」

No.442 「ロータリー情報の失墜を憂う」

鳴海淳郎ロータリー情報委員長より

7. お祝い



会員誕生日

中尾 誠会員

(5月21日)

※記念品を

お渡し致します。

結婚記念日 高宮勝美会員 (5月17日)

河村貴雄会員 (5月20日)

※ご自宅にお花が届きます。

配偶者誕生日 後藤潤子さん (5月23日)

※記念品をお渡し致します。

8. 例会変更のお知らせ

中津中央RC 5月24日(火)の例会は、東日本大震災チャリティー職場例会の為
同日12：30～善正寺に場所変更

大分1985RC 5月30日(月)の例会は、大分臨海RCとの合同例会の為 同日
12：30～大分全日空ホテルオアシスタワーに場所変更

9. 次週例会の予定

「親睦家族例会」於：春香苑 18：30～

10. 本日の回覧

①「親睦家族例会」出・欠席

②「第61回社会を明るくする運動」標語パネル購入協力

11. 本日の配布

①週報No.1047

②ガバナー月信No.11

スマイルボックス 委員長 森 宗明

○ゲスト卓話者 檀上陽一氏

卓話の謝礼をスマイルします。

○木村会長

檀上社長、佐藤さん、いらっしゃいます。檀上社長、今日の卓話、たのしみにしています。

○平野(英)会員

R財団の寄付、ありがとうございました。

○津末会員

檀上さん、何時も主人の「おもり」有り難うございます。お話し楽しみにしています。

佐々木さん、入会おめでとうございます。今後共宜しく願います。

○亀井会員

今日は入会式です。佐々木さん、ようこそ別府中央RCへ。これから一緒にロータリーの活動を頑張りましょう。よろしく願います。

本日の卓話は檀上さんです。大変貴重なジャーナリストから見た真実の東北の話が聞けると思います。よろしく願います。自衛隊同行、お疲れ様でした。御社の新聞で同行記を読ませていただいていたました。

○後藤会員

檀上さん、卓話よろしく願います。

佐藤さん、中央RCによろこそ。途中退席すると欠席にしますからよろしく！

○大島会員

皆様、こんにちは。本日より入会の佐々木さん、宜しく願います。又、今日はゲストの檀上さんの卓話をたのしみに来ました。頑張ってください。

○衛藤会員

風薫る気持ちのいい日です。

今日は檀上様、佐藤様ようこそお越し下さいました。どうぞごゆっくり。

新入会員も加わり、今日にはぎやかですね。うれしいですね。

○高宮会員

今日新聞社の檀上陽一社長、本日の卓話楽しみにしています。

佐々木さん、入会おめでとう。今日は私の42回目の結婚記念日です。記念の日に入会して頂きありがとうございます。

○鳴海会員

今日は、佐々木さんご入会誠におめでとうご



ございます。心より歓迎致します。皆さんと一緒に大いにやりましょう。

また、本日は檀上さん、よくいらっしやいました。卓話よろしくお願ひ致します。

○村津会員

今週金曜日・20日、境川守る会の総会があります。私にとって最初の曾孫・晴仁の初節句(平成十二年)から、毎年鯉幟代5万円を寄贈しております。お陰で一気に登山の日は、境川の空に600匹が元気に泳ぎます。

感謝してスマイル。

※13日(金)事前メーキャップ済みです。

○森会員

R財団の寄附を忘れていたら、平野委員長から「人間性に問題がある」と言われました。きつい一言にやられました!

委員会報告 R財団委員長 平野 英壽

ロータリー財団寄付

鳴海 淳郎会員

マルチプルポールハリス準フェロー 83回目
大口寄付者として 合計10,505.48\$

梅津ヤヨイ会員

マルチプルポールハリス準フェロー 9回目

森 宗明会員

ポールハリス準フェロー 6回目

堀 由美会員

ポールハリス準フェロー 1回目

高宮 勝美会員

ポールハリス準フェロー 2回目

森園 伸也会員

ポールハリス準フェロー 2回目

亀井 孝会員

ポールハリス準フェロー 4回目

岐部 光男会員

ポールハリス準フェロー 1回目

前田 哲矢会員

ポールハリス準フェロー 1回目

以上の寄付をいただきました。

前回の村津会員・後藤会員・木村会長・平野委員長と合計して現在まで1300ドルの協力をいただいています。

卓話

「東日本大震災 陸上自衛隊同行記」

今日新聞社 社長 別府東RC

檀上 陽一



「これは(東日本大震災救援作戦)平時における実戦だ!我々の行動によって、民生の安定が図れる。捜索活動にあたっては、ご遺族の心情を思え。被災者には最大限配慮せよ。民生支援においては、『目配り』『気配り』『心配り』

を忘れず献身的に行動せよ。安全管理を徹底して、1人の事故者も出さな!」陸自第41普通科連隊第1中隊長 重松丈雄3佐の檄が飛んだ。3月28日深夜に2次派遣が出発した。高速道路は一般車と同じくチケットを取り、乗り換えの際には通行証とチケットを渡す仕組み。

国交省ならびに道路公団の対応がイマイチだ。自衛隊車両が「災害派遣」で出動する際、ゲートで一回一回チェックするシステムが「有事」を全く想定していない。ちなみに自衛隊が演習目的で高速道路を利用する場合は、ETCでパスできるが、使用料金は後払い。ちゃんとした料金が請求される。天下り天国道路公団の体質が感じられる。

今回は広島の実田市駐屯地をはじめ、姫路、豊川、朝霞、郡山の5つの駐屯地で給油した。高速道から一旦降りて各駐屯地で給油するのだが、時間的なロスに加え、東京大阪周辺の主要幹線道路は、ラッシュの時間帯と重なり、最終的には予定より3時間遅れの現地到着となった。

災害派遣をはじめ、緊急出動の場合、「高速道出入時の手続き」、「給油体制」さらには「主要幹線道での優先レーンの確保」に配慮が必要と感じた。

隊員90人は第2次出発ながら発生から18日間、内心忸怩(じくじ)たる思いだったのだろう。陸曹候補生の牛島弘貴陸士長(20)は「被災者の方々に対して何とかサポートしたい」、入隊1年を迎えた橋本裕太1等陸士(23)は「この非常事態に



あたり、使命感を持って任務を達成したい。自分勝手な行動を慎み、被災者の方々にしっかり対応していきたい」

いづれも表情にあどけなさを残す、遊びたい盛り青年たち。「国運」は彼らの手にかかっているといっちは言い過ぎか。

自衛隊を取り巻く環境や、その存在意義はこの「国難」で全く様変わりした。新聞、テレビは連日のように彼らを「英雄」視して、その活躍を讃えつづけている。

福島第1原発の初期鎮静活動において、自衛隊ヘリが空中放水して「命懸けの任務」を評価している。陸海航空23万自衛隊の7割近くが出動し、この「史上最大の作戦」に携わり、彼らの献身的活動に影響を受けた在日米軍も海軍、海兵隊をはじめ1万7千人がこの「ともだち作戦」に参加している。

しかし一方、新年度の検定教科書には、自衛隊を「憲法違反」と記述する教科書もある。我々はこの憲法違反の集団によって助けられているのだ。

藤岡登志樹41普連隊長の指導方針でもある順守すべき事項は次の通り。

- ・常に被災者の身になって行動する
- ・被災者の前ではタバコを吸わない
- ・食事など食べ物を口にしない
- ・座ったり、見苦しい姿を見せない
- ・飲酒は厳禁で、発見されたら厳罰とする
- ・大声を出さない
- ・笑い顔や笑い声を出さない
- ・死体は「ご遺体」と表現する
- ・被災地その周辺に商店や自動販売機があっても購入してはいけない

などの注意事項がある。

気仙沼市南部に位置する「赤岩港」は、水産加工団地があり、ここが直撃された。陸揚げされた魚が全市に散乱して異臭を放っている。イカ、サンマ、ブリ、マグロ、北方の珍味は、土砂に溶け込んでドロとなり、隊員の被服に付着する。

41普連は5月10日現在で226体の「ご遺体」を回収、その後も搜索活動を実施している。

亡き人たちの姿は例えば、重迫中隊が担当した「みなと町」で乳飲み子を抱きしめた母親。死後硬直が始まり、母親の腕を伸ばして元に戻すのに苦労した。2中隊が担当した「あけぼの橋」近くの搜索現場では、中年の男性が尋ねて来た。

「ウチの妻と小学校2年生の娘と私の母親がまだ見つかりません」「先程、一体ご遺体を回収しました。ご確認を…」と自衛官。幼い娘の変わりはてた姿を見て号泣する父親。犠牲者はガレキの下や津波によってもたらされた土砂の下に埋まった状態で発見される事が多い。隊員は発見と同時に、汚れた顔や身体を濡らしたタオルでキレイに拭き取り、収納用の袋や布で包んで車両に搭載する。任務に対する意識だけでは務まらない。

「この戦い、私たちの正面に居るのは『敵』ではないんです。被災した、私たちと同じ『日本国民』なんです。だから、一歩も後退できない」

気仙沼市は平成21年9月の市町村合併で人口7万4千人、宮城県の北東に位置し、東は太平洋、南は被災地本吉郡南三陸町、西は岩手県一関市、北は著しい被害のあった岩手県陸前高田市に接する。遠洋漁業の基地的役割をはたす。とくに生鮮カツオは水揚げ日本一（H9～18年）、さらにフカヒレとともに気仙沼の顔。総面積は333.37平方キロメートル、宮城県では7番目の広さ。

戦後65年間、自衛隊は黙々とその環境に耐え忍んで来た。この歴史の中で、これ程、その存在意義が広く多くの国民に認められた事はない。

避難所生活も3週間近くなると、相当のストレスもたまる。41普連が「別府温泉」を提供して、癒し効果を演出している。41連本部管理中隊の堀英二曹長が“番台”となって、プラスチックの衣装ケースにお湯を張り、隊員カンパで購入した明礬脇屋商会の「湯の花」を入れて、インスタント別府温泉の足湯を提供。高齢者や女性に大人気のスポットとなった。

「被災者の前では笑ってはいけない」が不文律ながら、この瞬間だけは堀曹長も人の良いオヤジ役を買って出ている。

「湯かげんはどうですか。えっ？ぬるい？オイ！どんだんお湯を持って来い！」と若手隊員を「陣頭指揮」。

「あ～気持ちいいなあ～。今度、別府に遊びに行きてえさなあ～」被災の苦悩を忘れさせる貴重なひと時をプレゼント。観光協会から表彰されてもいいくらい、41連即席「別府温泉の効能」といったところ。

気仙沼は地元の行政が比較的早く再稼働してきた。災害時における「応急措置」は自衛隊、警察、消防でまかなえるが、被災者へのキメ細かな対応については、行政サービスや民間ボランティアが



基本。総合的な救援救難から民生支援まで幅広い対応は、組織のコントロールに障害の恐れも。自衛隊10万人出動は単なるロジックマネジメント(数的管理)であり、今後様々な問題を抱えそう。

被災者用に印刷された「政府広報」がある。被災から3週間後に届けられた。A3サイズでエンジ色の1センチの幅の枠で囲まれ、被災者のみなさまへ「政府からのお知らせ」のタイトル。内容は「被災半月を過ぎて不便な中におり、広大な被災地全てに手が行き届かず『本当に申し訳ございません』」と記してある。また「必ず知ってほしいこと」のタイトルで

- 余震や津波には、まだ警戒してください
- 健康を第一に考えてください
- 官邸から、ラジオで、毎日お伝えします。

まず政府が謝罪している事が問題だ。「不自由をかけて、本当に申し訳ございません」などと一国の政府が、しかも事態は福島原発をはじめ現在進行中のなか、謝罪する事によって、被災者に許しを求めようとする軟弱な姿勢がうかがわれる。謝って済まぬ問題だ。

また、「必ず知ってほしい」とする内容については、すでに被災地では常識中の常識。被災情報は北陸各県のFM局から月～金の毎日、午後8時55分からのわずか5分間。それも首相官邸から発信される情報(原稿)だ。

この「政府広報」、避難所では目に触れさせないようにと、配布されずに山積みになっているところもある。

この際、自衛隊にもモノ申す。ド素人の菅首相の方針で10万7千人を投入した。自衛隊はこれまでに約2万人を救助・支援した。「長期戦を覚悟する」と言う。これは政治の課題。派遣が長引けば、

重度のストレスによって部隊は疲弊し、新たな損害が生じる。すでに2人の自衛官が「殉職」した。

行政や民間レベルで対応できる分野は、ある時期が来れば、引き渡して再生能力を刺激させる。そのためには、自衛隊制服組の代表選手を選出して、首相補佐官クラスに立てるべき。

この「国難」を機会に、自衛隊自身も遠慮せず、専門家としての意見を堂々と主張する体質改善が必要な時期となったのでは…。

連隊本部3科の管沢祐司准尉(46)がつぶやいた。「10年後は定年になっているけど、この気仙沼がどう変わっているか、この目で確かめてみたい。10年後、もう一度ここに…」派遣地「気仙沼」に思いを込めた言葉だ。

次に今回の派遣で最も印象深かった事を記してみたい。

まずは自衛隊、警察、消防といった、国民生活の安全を守る組織の評価。まさに命をかけた闘いの連続であり、自衛隊の派遣2ヶ月は様々な障害を乗り越えた形。また芸能界、プロスポーツの世界の人達の献身的な職業奉仕は実に素晴らしいものがある。一方、危機的状況は政治の世界。出来の悪い菅総理の足を引っ張り、震災を政局に転換しようとする動きがあるのは誠に残念だ。

小沢一郎グループの動き、原発政策を推進して来た自民党、さらに社民、公明、共産の目立った動きが見られない。今こそ挙国一致で取り組み命題。永田町の姿は墮落した三等国に等しい。

その中でも一条の光を見出せたのは、天皇后陛下のお姿。初めて自衛隊のヘリを使われ、被災地を回られた。避難所で一人ひとりに膝づめてお見舞いの言葉をかけられるお姿に感動を覚えた。未来将来をのべる前に、今を生きる活力と勇気を与えられたお姿は日本の宝である。我々のこの国は素晴らしい再生能力の備わった国家であり、過去幾多の困難を乗り越えた経験豊かな誇るべき祖国であることを皆さまにお伝え申し上げ、結びとさせていただきます。